

リサイクルデザイン

RECYCLE DESIGN

2012
No.212

5

横浜型地域貢献企業
最上位認定取得

特集 * エコライフを応援する 春の横浜 街歩きスポット



エコライフを応援する

春の横浜 街歩きスポット



春になって暖かい風が心地よく感じるようになると、外出するのが楽しくなります。

そこで、横浜の街歩きで見つけた、素敵なお店やスポットをご紹介します。

横浜市が取り組んでいる3R^{スリム}夢な生活に役立つお店ばかりです。



ブックギャラリー&カフェ ^{フウシン}風信

コーヒーを飲みながら
ゆっくりと古書選びを楽しむ

表通りから住宅街へと入った小さな路地にひっそりと佇むようにあるのが「ブックギャラリー&カフェ 風信」。古書販売のお店ですが、カフェでもあります。店内は壁一面に天井まで届く本棚が並んでいますが、不思議と落ち着く空間になっていて、まるで書斎のようです。本棚には美術書や文芸書、児童書、趣味の本などの古書が並び、絶版になっている文庫もあります。南アルプスの伏流水で淹れたコーヒーを味わいながら、お気に入りの本をゆっくりと選んでいると、ちょっと贅沢な時間を過ごすことができます。



📍 横浜市中区野毛町3-142
☎ 045-242-3768
🕒 12:00~19:00(金・土は21:00まで)
📅 月曜(定休)・火曜(不定休)
🌐 <http://home.netyou.jp/33/fushin/>

横浜市が推進する「ヨコハマ3R^{スリム}プラン」は、3Rに取り組むことでごみを減量し、環境に負荷をかけたくない街づくりをめざすものです。横浜市在住の方ならよくご存知だと思いますが、この3Rに取り組んでいるのは市民だけではありません。そこで今回は、エコに貢献している市内のお店の中から、3R夢なお店をご紹介します。

環境にやさしいエコなお店といえば、衣類、家具、家電のリサイクルショップや古書店などがすぐに思い浮かぶと思います。でも、横浜の街には、ほかにもいろいろなエコなお店があります。地産地消に取り組む飲食店や排ガスゼロの自転車タクシー、壊れたおもちゃや家具を修理してくれる専門店、お気に入りの洋服やバッグ、靴を染め直してくれるお店もありました。

これらのお店を利用することは、結果として自動車の排気ガスやCO₂が減ったり、ごみの減量につながります。3Rは、ごみの発生抑制が一番大事ですが、エコなお店を利用することでも貢献できるのです。



横濱うたげや ど根性ホルモン

リーズナブルな料金で
地元野菜とホルモンをガッツリ

ど根性ホルモンは、横浜産の食材の流通と販売を行う「よこはまグリーンピース」の代表であり、地産地消の推進に取り組む店主が営む居酒屋です。野菜は市内の農家から仕入れたものを使用し、メニューには生産者の名前と場所が書かれています。また、地元の恵みを地元で楽しむ「横浜・地恵地楽マルシェ」を開き、野菜の販売もしています。メニューは、ホルモン網焼きミックス三種盛り450円、塩モツ煮、牛ハツのたたきが各480円、オリジナル商品の横浜焼小籠包が250円など、とってもリーズナブルな価格です。

住 横浜市西区戸部町7-224 ☎ 045-320-3077
 営 17:00~23:00
 (ランチ11:00~14:00・木曜日のみ)
 休 日曜・第3月曜
 HP <http://www.dokohoru.info>

ベロタクシー横浜

排気ガスと騒音の出ない人力タクシー

ベロタクシーとは、自転車タクシーのこと。ドイツで開発され、横浜には2007年に登場しました。赤レンガ倉庫や中華街などベイエリアを中心に、決まった運行ルートを行います。初乗りが300円で、ポイントごとに100円加算されます(詳しくはHP参照)。排気ガスゼロ、騒音もない時速8キロのタクシーで、ゆったりと移動するのは、とても気分がいいですよ。

住 横浜市中区寿町1-1-11興和ビル1F
 ☎ 045-228-3380
 営 11:00~19:00(電話受付10:00~18:00)
 休 無休(雨天・荒天は休業することあり)
 HP <http://www.velotaxi-yokohama.jp/>



80*80 hachimaru-hachimaru



80km圏内の食材を使った安心ごはん

店名は、80km圏内の食材を80%以上用いた料理を提供することから名付けられています。思うような食材を揃えるのが難しい飲食店の地産地消ですが、このお店は真面目により食材を探しています。地野菜のラタトゥイユやカレー、季節野菜のデリが選べるアラカルトメニューの他に、お弁当、ケーキタリングなどもあります。メニューの詳細はHPで確認できます。

住 横浜市中区太田町2-28 ☎ 045-663-7056
 営 11:00~15:00/17:00~21:00(土曜・祝日11:00~夕方)
 休 日曜
 HP <http://www.8080food.com>



ダニエル 家具の病院



名門家具メーカーの職人が家具を修理

ダニエルはクラシック家具メーカーですが、壊れた家具を修理する「家具の病院」も併設しています。修理は、木工、張り替え、塗装などのすべての工程が可能です。張り替えも表面だけでなく、中の材料まで剥がしてきっちりと直します。担当するのは各工程のベテラン職人たち。魂のこもった職人技で、お気に入りの家具を新品同様に蘇らせてくれます。

📍 横浜市中区元町3-126
☎ 0120-497-669
🕒 受付時間9:00~18:00 休 無休
🌐 <http://daniel.kagunobyouin.jp/>

ラポール おもちゃの病院



壊れたおもちゃを無料で修理

無料でおもちゃを修理してくれるおもちゃの病院 (<http://toyhospital.org/>) は全国にあり、横浜市内にも30カ所以上あります。その中から、修理を毎月行っている「ラポール おもちゃの病院」を紹介します。横浜ラポール内にあるおもちゃ図書館が開催するもので、毎月第2木曜日に開院します。事前申込が必要なので詳細はホームページで確認してください。

📍 横浜市港北区鳥山町1752横浜ラポール(おもちゃ図書館内)
☎ 045-475-2055
🕒 毎月第2木曜10:00~15:00(事前予約・1人2点まで)
🌐 <http://www.yokohama-rf.jp/shisetsu/rapport/>

着物リサイクル かないや



練習着から小物まで何でも揃りリサイクル着物

リサイクル着物のお店「かないや」は、着物や帯、和装小物などを常時一万点以上の品揃えで、店頭・インターネット販売している専門店です。支店「リサイクル横丁」には、練習着や素材用の格安着物・羽織、古布など、掘り出し物がとことろ狭しと並んでいます。着物はどうしても敷居が高く感じますが、リサイクルなら手が出せるものが見つかるはずですよ。

📍 横浜市鶴見区豊岡町14-30金井ビル2F
☎ 045-581-7523
🕒 10:00~18:00(日曜は13:00~18:00) 休 無休
🌐 <http://www.kanaiya.co.jp/>

リビングアップ



染め直しで革製品や洋服を甦らせる

洋服、バッグ、靴のリフォーム、リカラー、リペア、クリーニングを行う「リビングアップ」。リカラー(染め直し)をしてくれる専門店が少ないため、全国から注文が届くそうです。毛皮や皮製品のリフォーム、修理、染め直しに強いので、愛着のある服やバッグがあったら、相談するとよいかもかもしれません。料金など、詳細はホームページをご確認ください。

📍 横浜市旭区白根2-5-16
☎ 0120-657-757
🕒 8:30~22:00 休 無休
🌐 <http://www.living-up.jp>

横浜市のリサイクル関連施設

資源回収ボックス

横浜市では、家庭から出される古紙（ダンボールを除く）と古布を回収するボックスを市内112カ所に設置しています。設置場所は、区役所、地区センター、スポーツセンターなど。詳しい設置場所は、ホームページから確認してください。

HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-shimin/dashikata/shi5.html>

センターリサイクル

各区にある横浜市の資源循環局事務所が行っている家庭から出される資源物の拠点回収のこと。古紙、古布、缶・びん・ペットボトル、プラスチック製容器包装、小さな金属類などの資源物を持ち込むことができます。

HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-shimin/kyoten/kou006.html>

不要品交換情報版

横浜市の各区役所などには、家庭で不用になったものを交換するための情報掲示板が設置されています。掲示板の場所はホームページで確認してください。

HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-soshiki/jimusho/shi8.html>

スリム 3R夢啓発施設

ごみや環境問題について楽しく学ぶことができる横浜市の施設が6カ所あります。ここでは、ごみの分別や3R（スリーアール）について学ぶことができる展示を行っています。

●スリム 3R夢ひろば 鶴見 ☎ 045-521-2191
〒横浜市鶴見区末広町1-15-1資源循環局鶴見工場内

●スリム 3R夢ひろば あさひ ☎ 045-953-4851
〒横浜市旭区白根2-8-1資源循環局旭工場内

●スリム 3R夢ひろば 金沢 ☎ 045-784-9711
〒横浜市金沢区幸浦2-7-1資源循環局金沢工場内

●スリム 3R夢ひろば つづき ☎ 045-941-7911
〒横浜市都筑区平台27-1資源循環局都筑工場内

●リサイクルひろば 港南 ☎ 045-832-0135
〒横浜市港南区港南台8-4-41資源循環局港南事務所内

●プレパーク さかえ ☎ 045-891-9200
〒横浜市栄区上郷町1570-1資源循環局栄事務所内



横浜市資源循環局 金沢工場リユース家具



粗大ごみの再利用でリユース家具を無料提供

横浜市のごみ焼却工場のひとつ、金沢工場では、リユース家具を無料で提供しています。粗大ごみとして回収した家具のうち、再利用が可能なもの（修理はしていない）を年に数回提供するもので、市内在住、在勤、在学の方ならば、抽選会に申し込むことができます。抽選会の申し込みや実施日等、詳しくはホームページをご覧ください。

〒横浜市金沢区幸浦2-7-1資源循環局金沢工場管理棟
☎ 045-784-9711

HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-soshiki/kojo/kanazawak/15re-use/>

横浜市資源循環局 リユース文庫



読み終えた本を次の人に提供するリユース文庫

リユース文庫とは、読み終わって不用になった本の交換ができるスペースのこと。区役所や図書館など市内の施設に25カ所ほど設置されています。リユース文庫は、1回の持ち込みにつき原則として1人10冊までとなっています。リユース文庫に気に入った本があれば、そのまま持ち帰ることが可能です。場合によっては、図書館への寄贈図書になる場合もありますが、いずれにしても有効活用につながります。

設置場所、問い合わせは以下のホームページから確認してください。
HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-soshiki/jimusho/shi9.html>



あっとほーむな子育てしましよ!

「子育てママの宝物」

私が主催するあるイベントで、20代の若いママが涙を流して次のような話をしてくれました。

「正社員で働いていましたが、出産を機に仕事を辞めました。子どもが1歳になって、お弁当屋さんで少しだけアルバイトをしたらとても楽しかったのです。その時、子育て以外の場で、子どものママじゃない自分として社会に関わることが、どんなに大切なのかわかりました」と。

子どもは目に入れても痛くないほどかわいい。愛情だって言葉では言い表せないほど感じている。できることならずっと一緒にいたい気持ちに嘘はない。でも、ほんの少しでいいから自分でいられる時間もほしいと思うのは、決して悪いことではありません。世の中においていかれる不安、ママとしてしつかりしなくちゃいけないプレッシャーと日々

戦っているママが日本中に数えきれないほどいるでしょう。

昔から子育ては、地域のみんなが手伝ってきました。今は悪いことをしたら叱ってくれるカミナリ親父はいませんが、それでも近所に頼れる人がいてくれたら、子育て中のママには心強い支えになるのです。

幼稚園・保育園の時はこうしていたとか、小学校入学時の壁はこうして乗り越えたとか、先輩ママから聞いた情報が、子育て中のママには宝物に思えることもあるのです。だから先輩ママの皆様、どうぞその経験を多くの人に語ってください。そして現役ママの皆様、多くの人から話を聞いてヒントにしてください。

私は、長年夜間保育と学童保育で子育て支援をしてきましたが、そのほかに、ママたちのお話会も定期的に開催しています。同じ地域に住ん

でいる先輩ママたちに、子どもが小さい時にどうしたとか、その時自分はどう思った、だから今はこういうことをしていれば大丈夫だよとか、お話をしてもらおうのです。身近に住んでいる地域のママたちの経験を聞くことが、どんなに役立つことなのかは、笑顔で帰っていく参加者の様子を見ていればよくわかります。

この連載では、そんな子育て支援をしている私の経験と、そこで聞いた先輩ママたちの声をお伝えしていきたいと思います。今回は夏休みの過ごし方についてお話ししましょう。幼稚園・保育園時代から、小学生の時こんな経験をさせたらひとまわり成長したとか、あんな経験させてあげればよかったなど、今だから語れる失敗談も含めてご紹介いたします。山のようにたくさんある夏休みのイベントを選ぶヒントになりますよ。



小栗ショウコ

NPO法人あっとほーむ代表理事。横浜市都筑区で学童保育所「あっとほーむ」を運営し、仕事に忙しいママたちの子育てを支援している。
www.npoathome.com





RD NEWS

山下公園で行われた フォーラムにブースを出展

3月10日(土)、11日(日)の2日間、都市生活者ももっと気軽に実現できるスローライフ、「アーバン・スロー」をコンセプトにした「ライフスタイルフォーラム2012 in YOKOHAMA」が山下公園で開催され、当組合もYES(ヨコハマ・エコ・スクール)へ出展しました。来場者数は2日間合計で約3万5000人の大盛況となりました。

家族連れやカップル、グループなど世代を超えた多くの人で賑い、ゴミの分別・リサイクルなど環境に関する様々なことを学び、体験していただきました。同時開催された「Boysai2012」会場とともに、山下公園をたまたま訪れたという方もイベントを楽しんだり、環境や防災を軸にした新しい暮らし方を考えるきっかけにさせていただくイベントとなりました。



分別体験の参加者でにぎわう組合のブース



東京国際フォーラムで開催された カーボン・マーケットEXPO2012



1,000名を超える来場者で大盛況のイベント会場

3月7日(水)、東京国際フォーラムで開催された「カーボン・マーケットEXPO2012」に「カーボン・アクションで日本を元気に」に出展し、組合のカーボン・オフセット取り組み、環境絵日記のPRなどを行いました。

組合では、環境絵日記に応募した横浜市内の小学生のカーボン・オフセットを行っていません。平成23年度は「環境絵日記」に応募した小学生1人当たりが家庭から出るCO₂の1.71kg分のうち、1kg分を岩手県の森林が吸収したCO₂を利用してオフセットしました。応募総数は1万8690作品でしたので19トン分のCO₂をオフセットしたこととなります。また、今回の取り組みはカーボン・オフセット認証委員会の審議を経て「カーボン・オフセット認証」を取得しました。

●次号予告

6月号の特集は
衣替えと衣類のリサイクルだよ!



月刊リサイクルデザイン

2012年5月号 通巻212号 2012年4月25日発行

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地
TEL：045(444)2531 / FAX：045(444)2532
<http://www.recycledesign.or.jp>

発行人：高田哲二 編集人：藤本達也 印刷：大日本印刷株式会社
発行部数：89,000部

本誌は古紙70%の再生紙と環境にやさしいNonVOCインキ、油性インキ「SOYA-eシリーズ」を使用しています。



大人気! りくみのティッシュ

牛乳パック再生紙100%のボックスティッシュ。一般的なティッシュは1箱150組ですが、200組でボリュームもたっぷり。

1箱200組400枚入り・5箱1パック

ご注文は
1ケース(10パック) 3,600円 から

●お問い合わせ・ご注文

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 山中

TEL：045-444-2531 E-mail：mail@recycledesign.or.jp



この仕事に専心することで、微力でも
人のために役立つことができたならありがたい
そして、日々健康で働けることに感謝している



Recycle Designer Profile

2 NOBUYUKI ENDO

遠藤商店代表。取扱品目は、びんを中心に紙類、アルミなど。20歳で事業を継いでからこの道一筋に43年。福祉関係のボランティアや募金活動にも力を注ぐ責任と行動力の男だ。
(横浜市資源リサイクル事業協同組合 東支部長)